

## 若者等活動拠点施設（仮称）の整備方針について

## 1. 目的

次代を担う若者がまちなかに集い、様々な活動を通じて飛騨高山への誇りと愛着を育むとともに、歴史ある建物の保存と伝統的建造物群保存地区及び周辺の美しい町並み景観の維持を図ることにより、地域全体の活性化や持続可能なまちづくりに繋げる。

## 2. 施設の名称等

名 称 若者等活動拠点施設（仮称）

※愛称は市民等からの提案を募集、決定する。

## 3. 施設の構成

所在地 高山市下二之町6番地、7番地、8番地

敷地面積 680.98㎡

施設概要 主屋 322.96㎡（延床面積）

繭倉庫 119.00㎡（延床面積）

土蔵1 57.52㎡（延床面積）

土蔵2 123.62㎡（延床面積）

土蔵3 59.50㎡（延床面積）

※位置図 別紙1のとおり

## 4. 整備方針

平成29年度より、地元高校生を含む公募市民による検討会や近隣住民との意見交換、大学生の意見などを踏まえ、活用方法等の検討を重ねてきた。建物の立地や保存の観点から制約があるなか、検討会などで出された想いや願いにできるだけ応えるよう、整備方針を次のとおりとする。

※検討会における意見（活用例） 別紙2のとおり

- ・市内外の中高校生や大学生を中心とする若者が歴史文化を体感しながら、自由な発想と行動力を発揮して活動できる施設として整備
- ・様々な目的を持った方が利用できる貸出スペースのほか、市民や観光客等が立ち寄っての休憩や、伝統的建築物などの見学ができる施設として整備
- ・高山祭の祭礼行事の舞台となり、伝統文化の保存継承に寄与する施設として整備
- ・伝統的建造物群保存地区にふさわしい良好な景観、建物の歴史的価値に配慮して整備

## 5. 整備計画

	整備内容	主な活用方法
主屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的建築物を体感できる空間として整備</li> <li>・保存又は復元を基本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務所機能、会議、伝統文化の継承や学習、祭行事など</li> </ul>
まゆ倉庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土足で誰もが通り抜けられ、吹き抜けの大空間を活かしたイベント等もできる空間として整備</li> <li>・周辺的生活環境（防音、防犯等）に配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち歩き拠点、休憩、活動発表 など</li> </ul>
土蔵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な目的で柔軟に活動できる空間として整備</li> <li>・木や土など自然素材を活用</li> <li>・周辺的生活環境（防音、防犯等）に配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書、学習、談話、映写、音楽、展示、倉庫 など</li> </ul>
庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節感や癒しを感じられる空間として整備</li> <li>・和風庭園、多目的トイレ等を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休憩、見学 など</li> </ul>

※平面図 別紙3のとおり

## 6. 運営方法

- ・公募市民による検討会のメンバーをはじめとした関係者の思いが詰まった施設として整備するため、実際の運営に際してもそれらの思いが活かせるような手法について、引き続き公募市民による検討会等で協議する。

## 7. 整備スケジュール

	H30(2018)	H31(2019)	(2020)
土地建物の購入	→		供用開始
設計	→		
監理		→	
工事		→	

※公募市民等による検討会、地元との意見交換会などを随時開催